

東淀川区西部地域のまちが大きく変わります!

1 大雨に備え「淀の大放水路」を整備し、まちを浸水から守ります (大隅～十八条下水道幹線は平成35年度完成予定)

事業概要

大阪市は地盤が低く、降った雨をポンプでの排水に頼る雨に弱い地形となっています。現在、東淀川区並びに淀川区内の抜本的な浸水対策のため、「大隅～十八条下水道幹線(内径5.25m、延長4.1km)」事業を進めており、この下水道幹線が完成すると、大雨による浸水リスクが軽減されます。

淀の大放水路 路線図



淀の大放水路 イメージ図



東淀川区、淀川区、西淀川区の三つの行政区にまたがる最大内径7.5m、総延長22.5kmの大下水道幹線

- 東淀川区～淀川区
 - 延長約6.5kmの大隅～十八条幹線をはじめ、幹線(大隅～大隅下水道幹線)を含む約8.5kmの下水道幹線を建設
 - 雨水は、既存の十八条下水処理場内ポンプ場から津崎川に排水

問合せ…建設局北部方面管理事務所管理課 電話6462-1434

2 歩道橋を設置し、「宮原踏切(開かずの踏切)」をなくします (平成30年度完成予定)

事業概要

JR東淀川駅の直近に位置する宮原踏切は「開かずの踏切」で、線路を越える東西の往来が不便でした。このたびJR西日本株と共同で、JR東淀川駅の橋上化にあわせバリアフリー化した歩道橋を併設し、安全に線路をまたいで東西の行き来ができるようになります。なお、完成後は、宮原踏切を撤去します。



問合せ…建設局道路部道路課 電話6615-6782

3 阪急を高架化し踏切をなくします (平成36年度 高架切替・平成39年度完成予定)

事業概要

阪急淡路駅を中心とした、阪急京都線3.3kmと千里線3.8kmの鉄道(淡路駅、崇禅寺駅、柴島駅、下新庄駅)を高架化しています。17箇所(吹田市域1箇所含む)の踏切を撤去し、都市計画道路歌島豊里線などの交差道路を整備することで、都市交通の円滑化や鉄道により分断された市街地の一体化を図ります。



問合せ…建設局道路部鉄道交差担当 電話6615-6762

4 淡路駅周辺のまち並みを整えます (平成39年度完成予定)

事業概要

阪急淡路駅周辺地区は、阪急淡路駅を中心に商店街が形成され、老朽木造建物が密集した市街地でした。現在、阪急連続立体交差事業にあわせ、良好な市街地を形成するため、駅前交通広場、道路や公園、良好な住環境の整備など、区画整理事業を進めています。

淡路駅周辺地区土地区画整理事業設計図



問合せ…都市整備局淡路土地区画整理事務所 電話6320-9461

5 区内の歌島豊里線が全線開通します (平成39年度完成予定)

事業概要

当区の東西方向の主な移動は、府道大阪高槻線に頼っています。都市計画道路歌島豊里線が開通すると、淀川区のJR新大阪方面の行き来が飛躍的に改善されます。現在、阪急京都線から千里線までの区間が未整備ですが、阪急連続立体交差事業による高架切替後、道路整備が予定されています。



問合せ…建設局道路部街路課 電話6615-6745

6 JRおおさか東線を整備し「(仮称)淡路駅」を設置します (平成30年度完成予定)

事業概要

おおさか東線は、旅客輸送を行うため城東貨物線の施設や用地を活用しながら複線化・電化を行い、新大阪駅から大阪東部地域を経て大和路線の久宝寺駅にいたる旅客線を整備するものです。平成20年3月、放出駅から久宝寺駅までの南区間(9.2km)が開業しました。現在、新大阪駅から放出駅までの北区間(11.1km)の建設が進められており、当区では(仮称)淡路駅の開業が予定されています。

【明日の関西を担う新たな幹線鉄道】



問合せ…大阪外環状鉄道株式会社 電話4707-0201

問合せ まちづくり企画調整 1階9番 電話4809-9927